

今は超有名になった山へ 茅ヶ岳

実施日 平成 18 年 9 月 2 日(土)
 天候 晴
 リーダー 涌井 良明
 費用 新宿 蕨崎 4,200 円(大月迄利用) 蕨崎⇨八王子(特急券)1,150 円 タクシー 1,800 円 合計 7,150 円
 参加者 友近洋子、吉田正之、佐藤金治、山口俊三、小池述史、福島政幸、島本陳重、新井田英子、山崎富美恵、ゲスト(小松勲、小松月子)2 名 計 12 名
 コースタイム 蕨崎駅(9:07 タクシー)深田公園入口(9:30~9:40) 休 (10:20~25) 女岩 (10:55~11:05) 稜線 (11:37~45) 茅ヶ岳 (12:04~50) 金ヶ岳 (13:41~14:00) 林道 (15:20) ふれあいの里入口(15:30~50 タクシー)蕨崎駅(16:05)

名実とも 9 月入りだが 2 日前までは雨・曇りの予報が、前日に一転秋晴れの予報に、やっと天気のパターンも変わったのかも。気持ちのよい青空にゴキゲンで深田公園入り口までタクシーで乗りつける。立派な駐車場に、記念公園、何ともメジャーな名山の雰囲気である。偽ハゲ岳などと称され存在感の薄かったこの山も、深田氏久弥氏終焉の山となってしまったことで、深田百名山崇拜の中高年登山者のメッカなのかも知れない。初めてこの山を目指したのは、その昔、例の長野行夜行で霧雨の蕨崎到着後、懐電と五万圓を頼りに歩き始め、途中炭焼の煙に山奥を感じ、廃屋で雨宿りしながら朝食をとった記憶があるが、もう 30 年以上も前になってしまった、年を感じるねえ。



駐車場奥の道標に従い、歩き始める、僅かで左手に深田記念公園がある、登山道は直進して広めの登りとも言えないような道を行く。途中で林道を横切り少しずつ岩が多くなったりするが、広い道のガラガラ登りが続く。道が狭まり多少の岩ごろになって正面に立ちはだかる女岩に着く、岩の間から流れ出る清水が美味い水場になっている。道は右へ岩を高巻くように行くが、ここから一気に急登になる。



所々、岩交じりの道を辿るが、昨日降った雨の湿気が残り汗が流れる、30 分程のアルバイトで尾根上に出る、木々の間に稜線の向こう側の山を見る。一呼吸後山頂を目指す、直ぐに右側に深田久弥氏終焉の地を通過する、岩っぽくなった尾根道を行くが、所々花の姿もあり、まだ夏の山歩きらしい感じもする、見通す



空も徐々に広がり秋を感じさせるトンボの大群が舞う山頂に着く。正面に開けた南ア方面は稜線付近が雲の帯、ハゲ岳は編笠山から先は雲

の中である、また富士の頭も望めぐるっと展望の山である。先客も数パーティのみで我々 12 名が大部隊といった感じで気持ちの良い山頂の憩いである、のんびり昼食をとり金ヶ岳に向う。



距離は長くないが、最低鞍部までそこそ急に下り僅かに登ると、岩がくりぬかれた石門をくぐり稜線の道を登って行く。時々視界も開け、



振り返ると先程までの茅ヶ岳の盛上りが大きい、観音峠への分岐を過ぎ、1 時間足らずで金ヶ岳山頂に着く、1764 m 今日の高点である。付近は意外と花が多く楽しませてくれる、ナデシコ、ミヤマシャジン、マルバダケブキ、ノアザミなどまだまだ夏山を主張しているようだ、山頂を辞して南西の尾根道を下る、右の爆裂火口側は切れ落ち気味で小さい岩場もある尾根の下りである。すっかり雲の切れた網笠から横岳まで特徴あるハゲ岳の眺めを楽しみながら、またマツムシソウ、ハクサンフウロなど山の花もアクセ



ントを添える道を下る。樹林帯に入り湿って滑りやすそうな泥道部分もあるが、順調に下り続け林道に降り立つ、左へ数十メートルでゲートを抜けガラガラ林道を下る、右がバンガローやキャンプサイトになると「明野ふれあいの里」入口の舗装道路に出る。舗装路を歩くのは遠慮して、タクシーを呼び蕨崎駅に向う。

秋口最初の山行は好天に恵まれ、楽しさがこぼれるような山歩きだった。以後の山行も好天周期に恵まれて楽しいものになるように期待し乍ら？ オヤジメンバーズは八王子の反省会で盛上り、全て終了です。参加いただいた皆様、これに懲りずまたご一緒に歩けることを期待しています。オツカレサマ！

(記・涌井 良明)